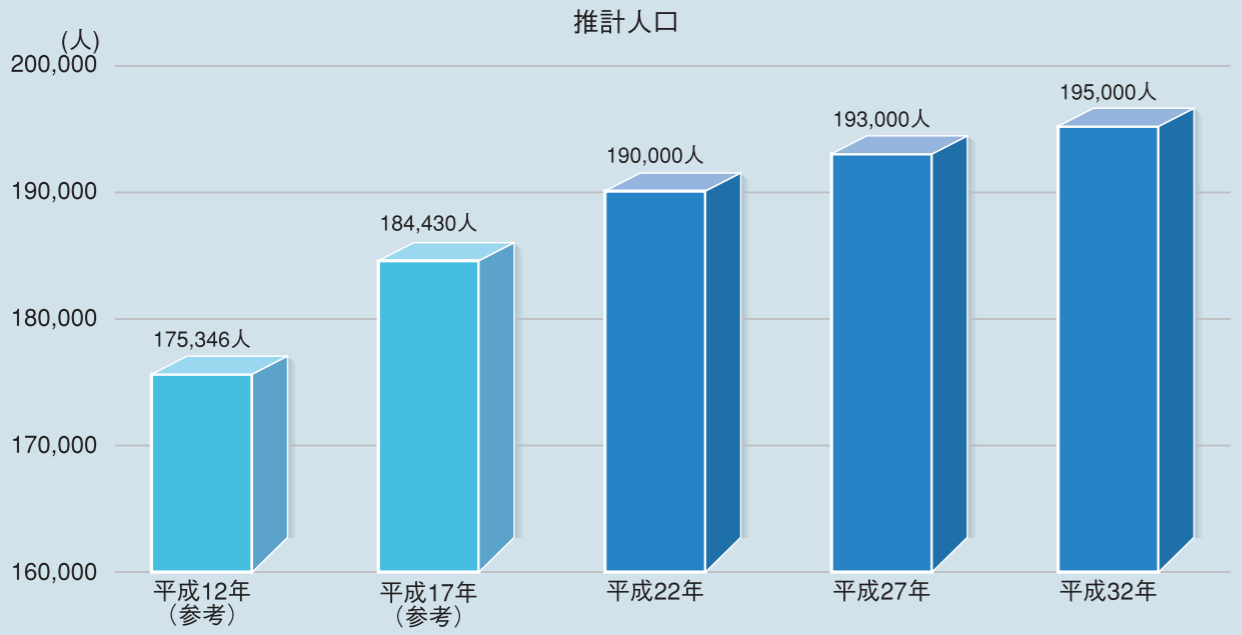


計画の主要指標

1.人口

東広島市では、今までは一貫して高い増加率で人口増加が続いてきました。今後も、ある程度の社会増が予測されるものの、少子化の影響やこれまでのような大幅な社会増が見込めないことから、緩やかな増加で推移するものと考えられます。

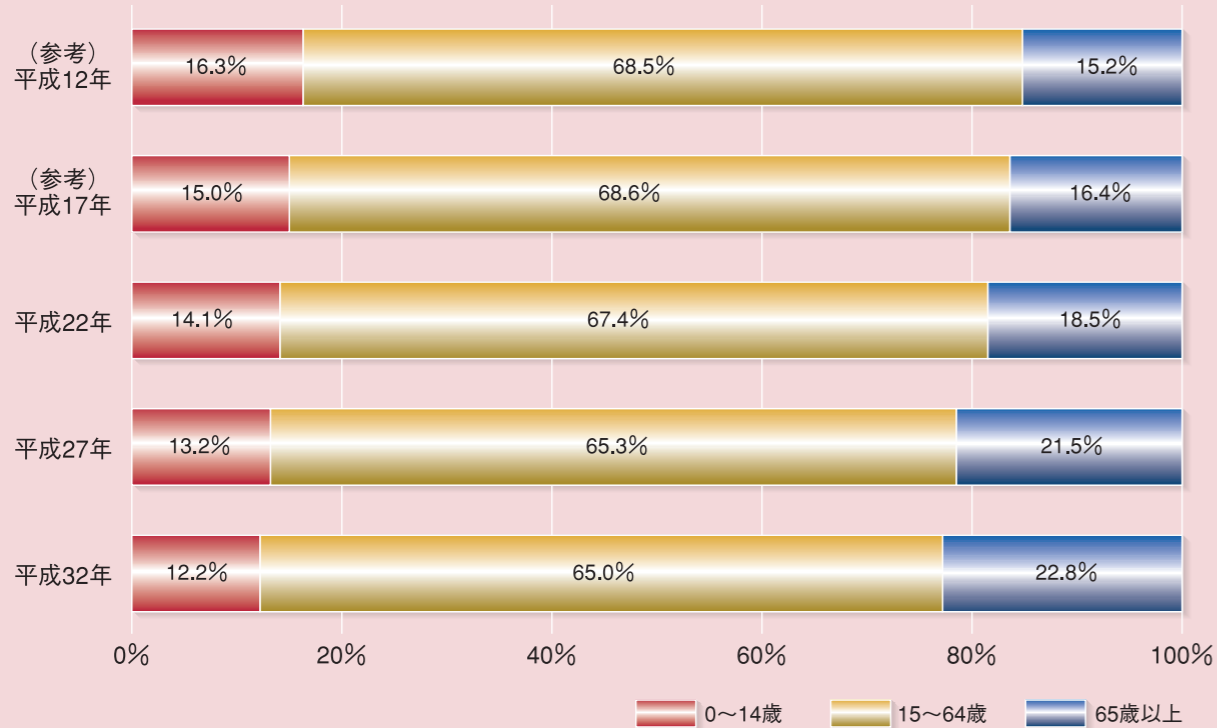
以上から、基本構想の目標年次の平成32（2020）年における人口を、平成17（2005）年から約1万人増の19万5千人と推計します。



(注)平成12年、17年は国勢調査による。

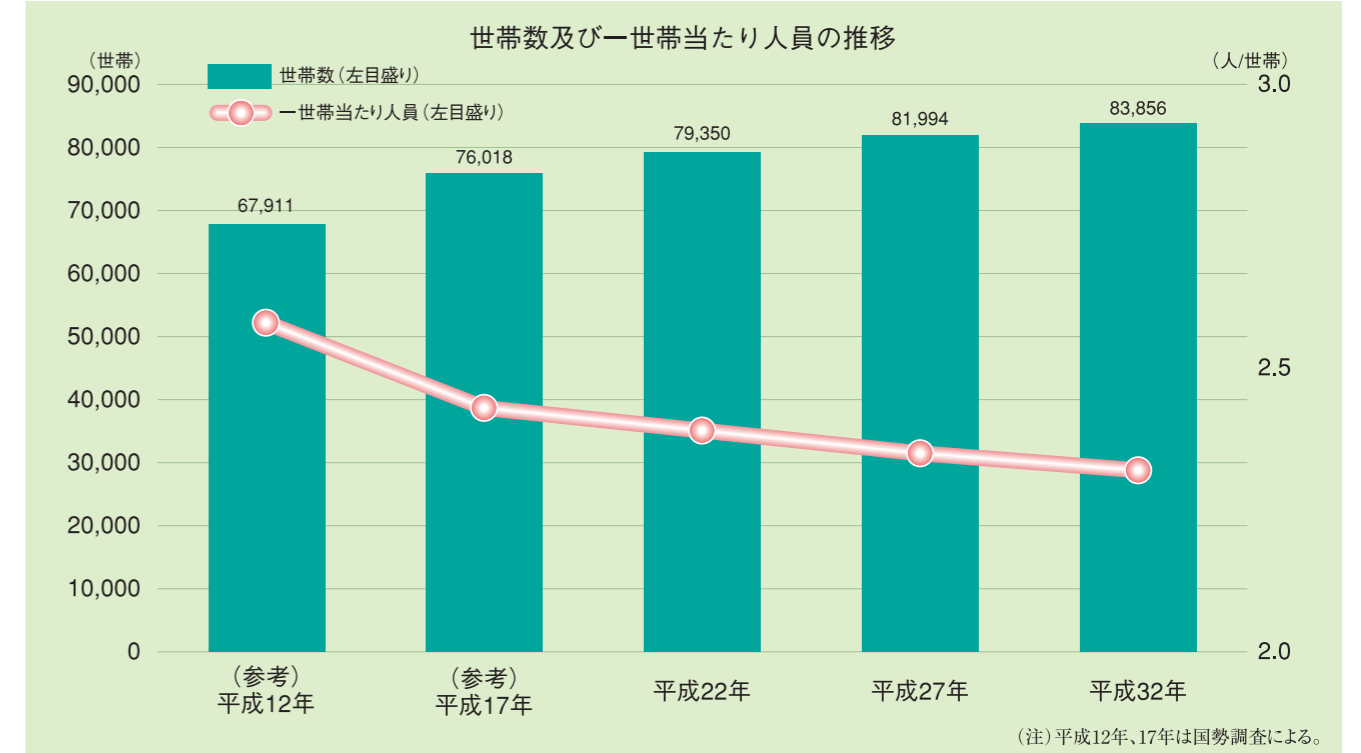
2.年齢階層別人口

年齢階層別人口構成比の推移



(注)平成12年、17年は国勢調査による。

3.世帯数



(注)平成12年、17年は国勢調査による。

4.昼夜間人口比率

昼夜間人口比率の推移

	(参考)平成12年	(参考)平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
昼間人口	168,839	181,054	188,100	192,421	195,780
夜間人口	175,346	184,430	190,000	193,000	195,000
昼夜間人口比率	96.3%	98.2%	99.0%	99.7%	100.4%

(注)平成12年、17年は国勢調査による。

5.産業別就業者数

産業別就業者数の推移

	(参考)平成12年	(参考)平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
全産業	86,490	90,425	92,462	91,036	91,490
第1次産業	6,777	6,312	6,033	5,432	4,948
	(7.8%)	(7.0%)	(6.5%)	(6.0%)	(5.4%)
第2次産業	29,146	29,205	29,147	27,559	26,553
	(33.7%)	(32.3%)	(31.5%)	(30.3%)	(29.0%)
第3次産業	49,413	53,588	57,282	58,046	59,989
	(57.1%)	(59.3%)	(62.0%)	(63.8%)	(65.6%)

(注1)平成12年、17年は国勢調査による。産業分類については「分類不能」の項目があるため、各産業別就業者数の合計は全産業計と一致しない。  
(注2)( )内は構成比。